

平成28年度第4回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要

開催日時	平成 28 年 8 月 29 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、清水、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	中村 毅
研究名	入浴の食欲、深部体温、血中グレリン濃度への影響についての検討(予備研究)
研究内容 要旨	高齢化、認知症患者の増加とともにフレイル、サルコペニアといった栄養不良に関する問題がある一方、過食による生活習慣病の増加が問題となっている。日常生活習慣である入浴による深部体温変動が食欲、食欲関連ホルモンへ与える影響を検討する。
審議結果	承認
意見	書類審議の結果、承認とした。
参考	本研究は、既に倫理委員会において実施を承認された研究に、軽微な変更を加えたものである。
新規研究計画の審議	
申請者	伊藤 卓也
研究名	見積もり誤差が高齢者の生活空間に与える影響の検討
研究内容 要旨	健常高齢者、要支援・要介護認定高齢者を対象として、生活空間の関連因子と見積もり誤差の関係を明らかにすることで、見積もり誤差が生活空間に与える影響を検討し、高齢者の活動と参加に重点を置いた評価や介入および介護予防プログラム作成の際の一助とする。
審議結果	承認
意見	書類審議の結果、承認とした。
参考	本研究は他の研究機関と共同して実施される研究であり、すでに研究の全体について共同研究機関である名古屋大学大学院医学系研究科において倫理審査委員会の審査を受け、実施について適当である旨の意見をj得ている。
新規研究計画の審議	
申請者	羽賀 敦子
研究名	透析患者の歩容変化における足底にかかる力学的負荷量の検討
研究内容 要旨	糖尿病を併存する透析患者は非外傷性下肢切断リスクが高い集団とされている。足潰瘍の早期発見・治療への取り組みはされているが、治療過程の潰瘍増悪や治療後の再発率が高い。治療過程での潰瘍増悪をきたす主な局所要因の一つに力学的付加量が増えられ、リハビリテーション評価・治療の役割は大きいjが、対策方法は確立されていないのが現状である。その為、本研究は糖尿病を併存する透析患者の歩容変化における足底にかかる力学的負荷量を検討していく。
審議結果	条件付承認
意見	共同研究機関における試料、個人情報を含む情報の保管及び廃棄の方法(保管・廃棄責任者の氏名および連絡先を含む)について説明書を記載する。 共同研究機関より研究機器の一部の貸与を受けていることを説明書に記載する。
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。 本研究は他の研究機関と共同して実施される研究であり、すでに共同研究機関である星城大学において研究倫理専門委員会の審査を受け、実施について適当である旨の意見をj得ている。

新規研究計画の審議	
申請者	小林 誠
研究名	当院一般病棟でがん患者と関わる医療従事者が経験した悩みと乗り越え方の調査
研究内容 要旨	当院一般病棟でがん患者と関わる上で経験した悩みと乗り越え方について他職種に調査することにより、医療従事者各々がチーム内で役割を果たすための一助とする。
審議結果	条件付承認
意見	同意書に説明者の氏名、説明年月日を記載する。 同意書に代諾者の署名は不要である(代諾者を必要とする研究対象者はいない)。 説明書に「予想される研究結果」「他の研究機関への研究結果の提供の有無」 「研究成果から生じる知的財産権について」について記載する。
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	石野 聡
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟における活動量向上を目的とした取り組みに対する効果判定
研究内容 要旨	当院回復期リハビリテーション病棟では、患者の身体機能向上、活動量向上を目的とし集団立ち上がり訓練やipadによる自主訓練管理といった取り組みを実施している。診療録から日常的に行っている評価結果を後方視的に調査し、取り組みの効果について検討する。
審議結果	承認
意見	書類審議の結果、承認とした。